「精神科救急」投稿規定

1．本誌は，原則として精神科救急に関する領域の内容で，他誌に発表されていないものを掲載します。論文の種類と枚数（400字詰原稿用紙換算）は下記のとおりです。
　原著・活動報告・資料：32枚以内（図表含む：小図表で1枚換算）
　ケース報告：16枚以内
　「会員の声」（Letters to the Editor）：4枚以内
　1）原稿枚数は厳守してください。なお，編集委員会が認めた超過については有料（超過分仕上がり1ページ当たり10,000円）となります。
　2）調査研究やケース報告などにおいては，対象者への説明と同意やプライバシー保護（匿名性への配慮）など，倫理的原則に沿ったものであることを明記して下さい。
　3）論文の表紙は原稿枚数に含みません。
2．投稿者は原則として本学会会員に限ります。共著者に非学会員を含む場合は，非学会員の共著者1名につき学会年会費1名分に相当する額を負担していただきます。
3．投稿の採否は編集委員会の審査により決定します。なお，投稿された原稿は返却いたしません。また，審査の結果，修正，削除，加筆などをお願いすることがあります。
4．執筆要項
　1）原稿の形式
　・原稿は，表紙，抄録（原著・活動報告・資料・ケース報告），本文の内容，図表写真のネームを全てCD，USBなどの電子媒体に保存し，A4の用紙に横書きに印字した原稿，使用する図表写真および投稿申込用紙，COI報告書を添え，7．に示した宛先に書留郵便または宅急便などの配達記録の残るものにて送付して下さい。
　・表紙と抄録は，それぞれ内容が1枚に収まるように，本文は24字×30行で十分に字間をとり，下部にページを付けて印字して下さい。英文原稿の場合はダブルスペースにして下さい。
　・表紙には，論文表題，著者氏名（最大8名まで），所属，連絡先住所，3～5個のキーワードを，それぞれ日本語と英語で記して下さい。
　・抄録は，日本語で300字から400字にまとめて下さい。ご希望により英文抄録（400 words以内）も受け付けます。
　2）表記
　・用語は，原則として当用漢字，新かなづかいを用いて下さい。専門用語については，各学会が定める（あるいは，それに準拠する）ものを用いて下さい。特殊な用語を使用する場合は，定義を明記して下さい。
　・特殊な場合を除き，数字は算用数字を用いて下さい。
　・省略記号のピリオドは省いて下さい。
　3）図表写真
　・図表写真の挿入箇所は本文右側の余白に朱筆して下さい。
　・図や写真は，可能な限りそのまま印刷できるものを用意して下さい。必要に応じて最小限の図版のトレースや写真の加工をいたしますが，複雑な作業が必要になるものは実費をいただくことになります。
　・カラー写真の掲載を希望される場合は実費を負担していただきます。
　4）文献
　・文献は引用文献に限ります。引用順に番号をつけ，本文の引用箇所に1）2）3）と肩番号を付して下さい。
　・引用文献数は，原著・活動報告・資料論文は30以内，ケース報告は10以内に収めて下さい。

Presented by Medical*Online

・著者名は3人までは全員表記し，4人目から「，他」「，et al」として下さい。
・雑誌名は公式略称を用いて下さい。
・記載の方法
〔雑誌の場合〕
著者名：論題．雑誌名　巻数：起頁 - 終頁，発行年（西暦）
〔書籍の一部引用の場合〕
著者名：論題．書籍名（編監修者名），発行所，発行地，起頁 - 終頁，発行年（西暦）
〔web サイトの記事の場合〕
著者名：論題．掲載サイト名　URL
・引用文献記載例
1）西山詮：堅い精神科救急（緊急鑑定）の実態と改革．精神経誌 86：89-119，1984
2）Geller JL, Fisher WH, McDermeit M：A national survey of mobile crisis services and their evaluation. Psychiatr Serv 46：893-897, 1995
3）計見一雄：精神救急ハンドブック．新興医学出版社，東京，1992
4）The ICD-10 classification of mental and behavioural disorders：Clinical description and diagnostic guidelines. World Health Organization, 1992（融道男，中根允文，小見山実 監訳：ICD-10 精神および行動の障害－臨床記述と診断ガイドライン－，医学書院，東京，1993）
5）Jonson S, Thornicroft G：Service models in emergency psychiatry：an international review. In：Emergency mental health services in the community（ed by Phelan M, Strathdee G, Thornicroft G）. Cambridge University Press, Cambridge, pp16-38, 1995
6）八田耕太郎，高橋丈夫：救急診療時の症状鎮静と身体管理．精神科救急医療（飛鳥井望，分島徹編）．金剛出版，東京，pp40-54，1998
7）日本精神科救急学会：精神科救急医療ガイドライン（2）（薬物療法）．日本精神科救急学会　http://www.jaep.jp/gl/gl-2-2.pdf

5）利益相反（COI）
本文の末尾に利益相反の有無を記載して下さい。
例：利益相反　なし
利益相反　あり（以下，企業・団体名および内容を記載）。

6）人工知能（AI）の利用について
前提として、人工知能（以下、AI）は著者としては認めない。また、AI を使用した場合も、情報の正確性や完全性については、著者が最終的に責任を負うものとする。
(1) AI の使用が可能な作業
文法・スペルのチェックや文献リストの整理、また文章を読みやすくすることを目的とした校正についてのみ使用可とする。データの解釈や結論の導出、または図の作成は不可とする。
(2) 論文中での開示について
AI を使用した場合は、本文の末尾（文献の前）に「論文作成における AI の利用について」の見出しの項目を設け、以下の事項を申告する。なお、文法、スペル、文献リストのチェックに使用した場合は、申告は不要である。
・使用したツール名（バージョンも記載する）
・使用目的
・使用したプロンプト（生成 AI に具体的な指示や質問を与えるための指示）
［記載例］
本論文の作成において、下記の事項について AI を使用した。

Presented by Medical*Online

ツール：ChatGPT（バージョン：GPT-4）
目　的：要旨の添削、修正
プロンプト：「要旨の文章の不自然な表現を見つけて、修正点をすべて指摘してください。その上で修正した文案を作成してください。# 制約条件：400字以内」

(3) 本項目については、技術の発展や学術コミュニティでの議論によって、今後改訂される可能性がある。

5．受理された論文の掲載に当たっては，事前に著者校正を1回行います。ただし，著者校正時点での内容の変更は原則として認めません。

6．別冊は30部が無料，追加については著者校正時に50部単位で有料にて承ります。

7．原稿送付先

〒169-0072　東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル　㈱春恒社内
日本精神科救急学会編集担当
（TEL 03-6273-8202　FAX 03-5291-2176）
（『精神科救急』投稿論文と明記して下さい）

編集委員会からのお知らせ

当学会誌は，年1回5月下旬の発行を予定しています。1月上旬に編集委員会を開催しますので，投稿論文の締切は11月15日とします。

本誌に掲載する著作物の複製権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は日本精神科救急学会が保有します。なお，著者自身の使用を拘束するものではありません。

Presented by Medical*Online

日本精神科救急学会誌　投稿申込用紙

筆頭著者名：　　ほか　　名

所属：

※以下に筆頭著者・共著者全員の氏名を記載してください。

連絡著者名：

連絡先：（〒　　）※必ず住所も記入してください。

（TEL：　　FAX：　　）

メールアドレス：

※数字の0とアルファベットのオー（O）や数字の1とアルファベットの小文字のエル（l），その他アンダーバー（_）とハイフン（-）などの判別しにくい文字についてはカタカナでルビを振ってください。

論文名：

希望論文種別：希望する種別を○で囲んでください。

原著　　活動報告　　資料　　ケース報告　　会員の声

以下の点をチェックしてご投稿ください。円滑な査読のため，ご協力をお願いします。

□ 原稿はA4サイズ横書きで，24字×30行となっていますか。
※文字サイズは10.5ポイント程度が適当です。

□ 表紙に（論文表題，著者氏名，所属，連絡先住所，キーワード）をそれぞれ和文・英文で記載していますか。

□ 希望論文種別を表紙に記載していますか（原著，活動報告，資料，ケース報告，会員の声）。

□ 枚数は規定内ですか（規定を超えている場合，超過掲載分は有料になります）。

□ ページ番号は入っていますか。

□ 原著，活動報告，資料，ケース報告の場合：抄録（和文300～400字）はありますか。

□ 引用文献数は規定数以内ですか（原著・活動報告・資料：30以内，ケース報告：10以内）

□ 文献の記載は投稿規定に沿っていますか。

□ 原稿は，表紙（1枚），抄録（1枚），本文，図表ネームの順に整っていますか。

□ 原稿のデータ（CDまたはUSB）はありますか。

□ 本文末に利益相反（COI）の有無について明記していますか。また，COI報告書はありますか。

Presented by Medical*Online

様式 1　日本精神科救急学会誌　自己申告による COI 報告書

■ 著者名：

■ 論文名：

※著者全員について，投稿時から遡って過去 1 年間以内での発表内容に関係する企業・組織または団体との COI の該当状況態を記載する。臨床研究に関しては，製薬会社・医療機器会社との研究期間中の利益相反について，額の多寡に関わらず記載すること。

項目	該当の状況	有の場合，著者名：企業名などを記載
①報酬額 1 つの企業・団体から年間 100 万円以上	有・無	例）精神　太郎：○○製薬
②株式の利益 1 つの企業から年間 100 万円以上，或いは当該株式の 5%以上を保有	有・無	
③特許使用料 1 つにつき年間 100 万円以上	有・無	
④講演料 1 つの企業・団体から年間合計 50 万円以上	有・無	
⑤原稿料 1 つの企業・団体から年間合計 50 万円以上	有・無	
⑥研究費・助成金等（治験も含む）の総額 1 つの企業・団体からの研究経費を共有する所属部局（講座，分野或いは研究室など）に支払われた年間総額が 200 万円以上	有・無	
⑦奨学（奨励）寄付などの総額 1 つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局（講座，分野或いは研究室など）に支払われた年間総額が 200 万円以上	有・無	
⑧企業などが提供する寄付講座 企業等からの寄付講座に所属している場合に記載	有・無	
⑨旅費，贈答品などの受領 1 つの企業・団体から年間 5 万円以上	有・無	
⑩その他（製薬会社・医療機器会社などのアドバイザリーなど）	有・無	

（本 COI 報告書は論文掲載後 2 年間保管されます）

（申告日）　　年　　月　　日

（署　名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Presented by Medical*Online